

## 中濃農林事務所の普及活動状況 令和4年9月25日現在

### ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■ぎふ清流GAP評価制度 自己点検・改善活動の支援

9月14日、管内のいちご・なす生産者に対して、GAPの自己点検活動の支援を行った。

生産者と一緒に、ぎふ清流GAP評価制度の管理項目に沿って、栽培履歴、在庫管理等の書類や資材保管庫、圃場等を確認し、更なるリスクが隠れていないか点検を行った。一つ一つの項目に対して、「なぜ改善が必要であるのか」という説明を行い、よりより改善方法を生産者と一緒に考えた。

上記の生産者は、今後ぎふ清流GAPの評価を受ける予定であり、更なる改善に取り組んでいく意向である。

農業普及課では、今後も関係機関等と連携しながら、食品安全や環境保全、労働安全等に配慮したGAPの推進を進めていく。  
(地域支援係)



【確認した資材保管庫】

### 安心で身近な「ぎふの食」づくり

#### ■水稲（採種） ほ場審査

水稲採種ほ場のほ場審査は、農産園芸課、農業経営課、郡上・可茂農林事務所から種子審査員として、JAめぐみの、全農岐阜、岐阜県米麦改良協会等関係機関の協力も得ながら実施している。

9月は「ハツシモ岐阜SL」の出穂期審査に始まり、「ほしじるし」「モチミノリ」「みのにしき」「ハツシモ岐阜SL」の糊熟期審査を行い、10月3日に終える予定としている。

審査基準に基づき、異品種混入や筋状に斑入りの葉を持つストライプ株、病害虫や雑草の発生状況、生育状況等を審査した。残念ながら雑草管理が不十分や倒伏等の理由で一部のほ場が不合格となったものの、長雨等によるいもち病等の影響を最低限に抑えて適切に管理されていた。

農業普及課では、ほ場審査を適切に実施し、水稲優良種子の確保につなげていく。(地域支援係)



【審査ほ場】

#### ■水稲（採種） 成熟期調査

水稲採種ほ場の生育状況を確認するために、作付されている5品種で、田植え後から月2回の生育調査を実施している。

9月2日は「あきさかり」、16日は「ほしじるし」「モチミノリ」の成熟期調査を行った。刈り取りも行い、乾燥後、脱穀調製を行い、収量を調査していく。

また、定期的に青籾率を確認し、出穂期からの積算温度と合わせて成熟期を予想し、JAめぐみとの情報を共有した。成熟期予想は、(農)美濃種子による刈取りとJAめぐみの美濃種子センターでの乾燥調製の日程調整などに活用されている。

農業普及課では、今後、生育調査や収量調査の結果を踏まえて、次年度の栽培暦の作成等を行い、水稲優良種子の確保につなげていく。  
(地域支援係)



【成熟期調査】

## ■水稲（採種） 害虫調査

令和2年のトビイロウンカ被害や、近年の不稔の発生を踏まえて、水稲採種ほ場4ヶ所で、月2回の害虫調査（払い落とし、すくい取り）を実施している。

J Aめぐみとともに、適期防除の実施を生産者に呼びかけし、これまでは少発生で推移している。8月下旬に美濃市内でトビイロウンカが捕獲されたこともあり、生産者への注意喚起を行っている。

農業普及課では、今後、発生が確認された場合には、一斉調査の実施や追加防除の実施など、被害を最小限に抑えるための対策を講じていく。（地域支援係）



【害虫調査（払い落とし）】

## ■大豆 狭畦栽培調査

中濃地域では、営農組合や個人農家等が約150haで大豆「フクユタカ」を栽培している。今年は6月下旬から播種が始まったが、播種適期の7月上中旬に降雨が多かったことから、播種は8月中旬まで行われた。降雨による湿害や草丈の短いほ場は見られるが、現在の生育は幼莢伸長から子実肥大期となっている。

農業普及課では、J Aめぐみの及び肥料メーカーと共同で大豆の省力化を目指し、狭畦栽培（畦間30～40cm、一般の畝間は75cm）の実証ほ場及び肥料調査ほ場を設置し、生育調査（主茎長、節数、分枝数、葉色）を8月9日と9月2、16日に行った。今後も引き続き関係機関と連携して生育調査及び収量調査を行い、狭畦栽培技術の向上を支援していく。（地域支援係）



【主茎長調査】

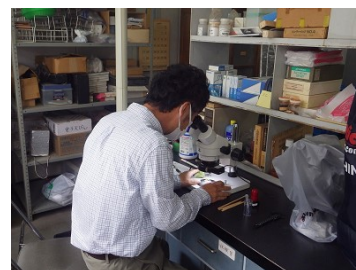
## ぎふ農畜水産物のブランド展開

### ■いちご 花芽検鏡による生産安定

9月中旬より、中濃いちご生産組合では定植苗の花芽検鏡を実施している。いちごの花芽分化には、低温、短日長、低窒素の条件が必要で、花芽が未分化の苗を定植すると、肥料分を吸収し花芽が遅れてしまう。定植時期の前進化や温暖化により花芽が分化しにくい状況のなか、収穫時期を早め、安定した生産を行うため、検鏡により適期に苗が定植できるよう支援している。

実体顕微鏡をのぞきながら、針などで葉を取り除き花芽を確認する作業は技術と時間を要する作業となるが、生産者の生産安定のため農業普及課では何十株と作業をこなし、定植時期の助言を行っている。

（地域支援係）



【花芽検鏡】